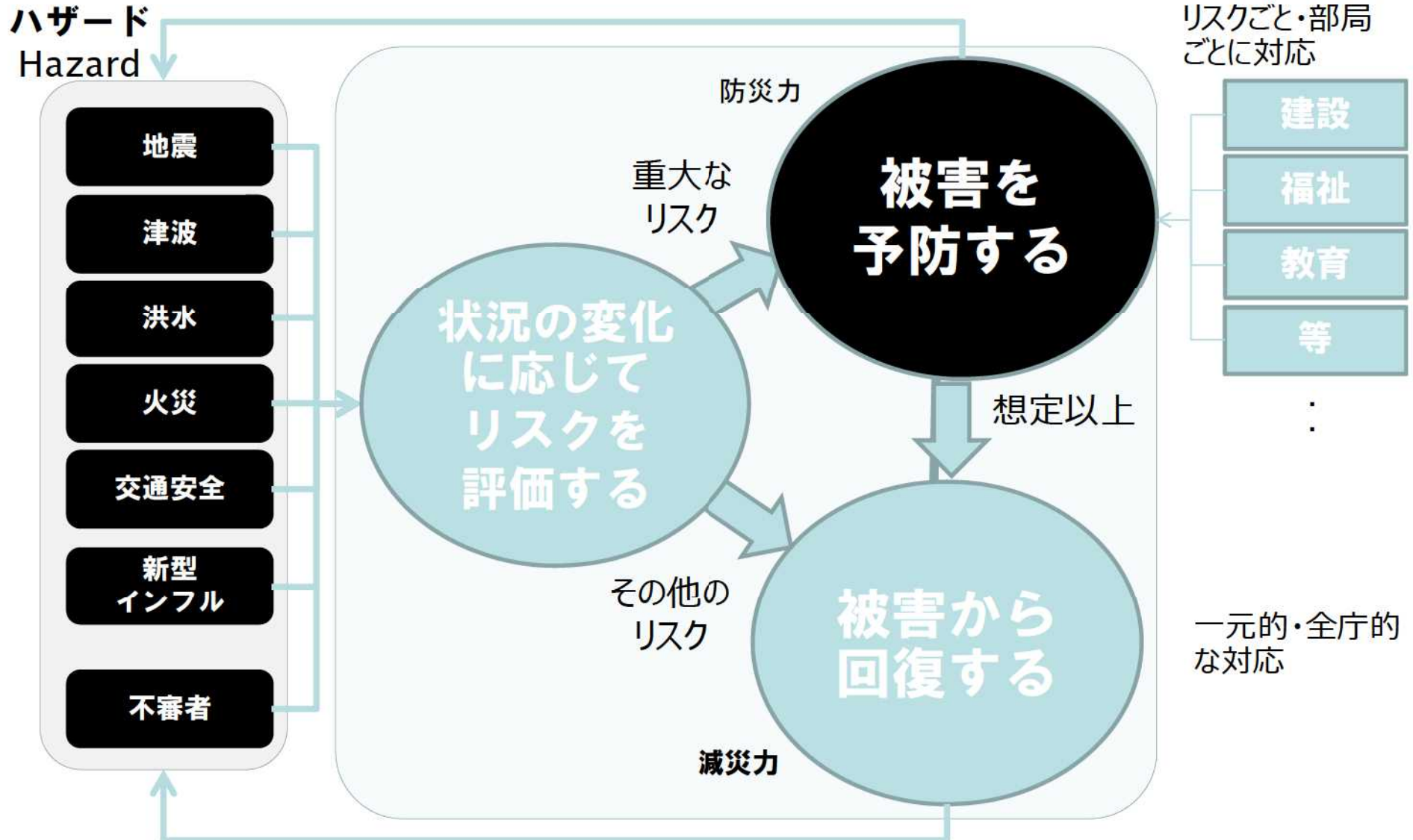




# 地域の防災力 (Disaster Resilience)

## どのようなリスクにも立ち向かえる地域の防災力



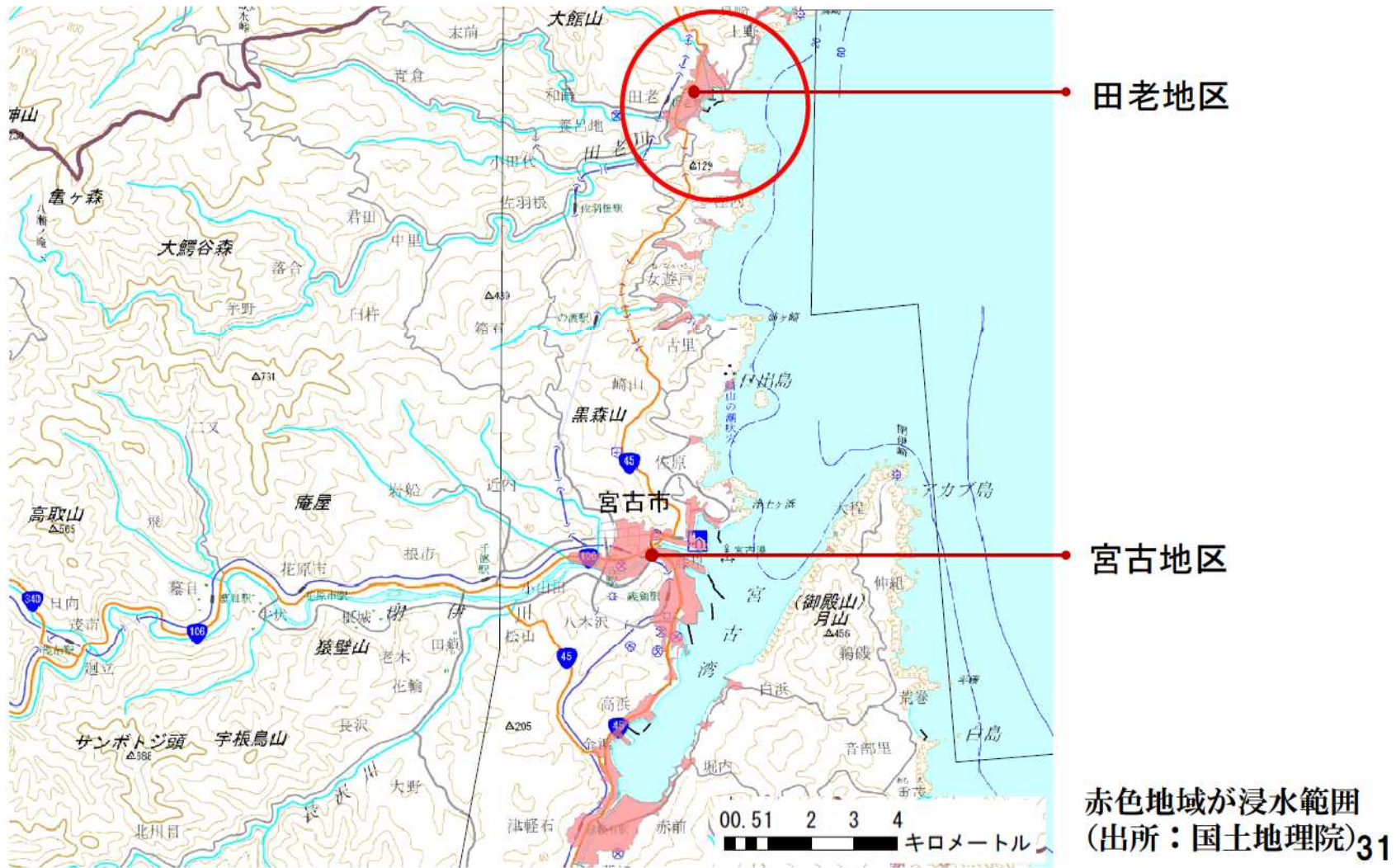








# Taro, Miyako





# Tsunami Walls at Taro Before and After 3.11



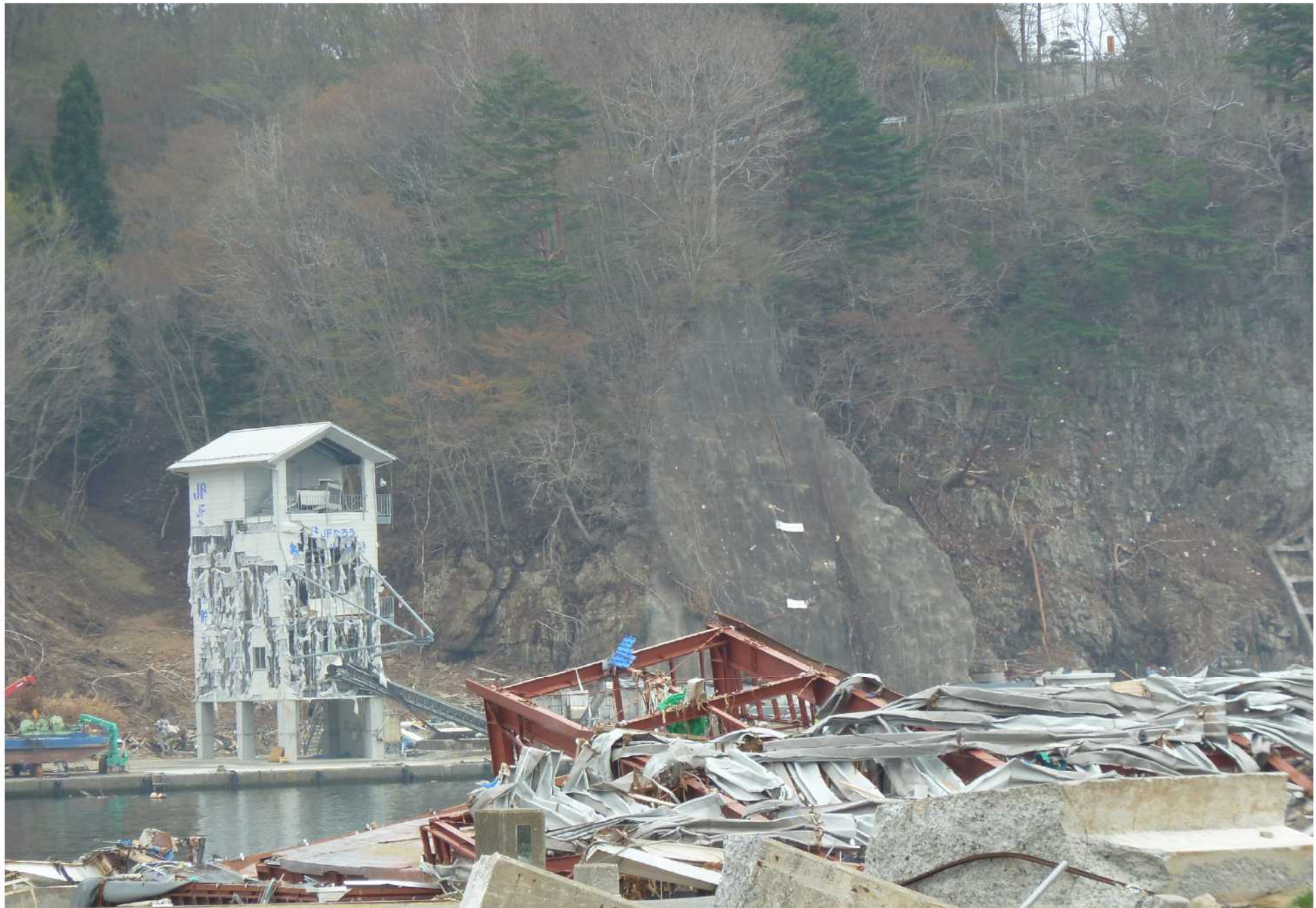
Before (1979)



After (3.13.2011)









**重大なリスクについては**

**基幹業務の確実な継続と、  
その他の業務の迅速な再開を目指して**

**総合的に備える**

**参画型戦略計画策定**



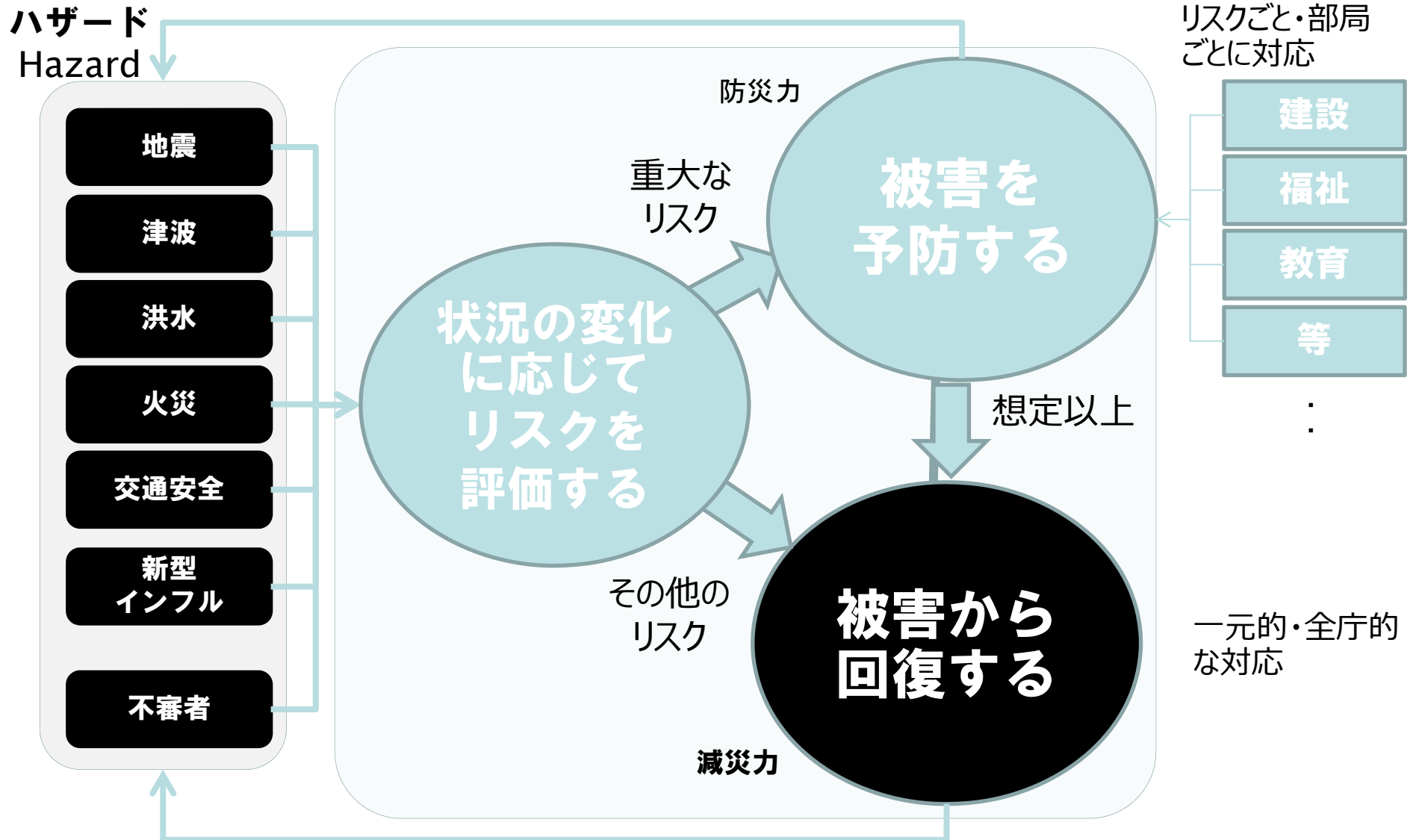
# リスクとつきあう4つの方法

		ハザード	
		地震	新型インフル
リスクへの対応	回避	活断層法	手洗い慣行 外出自粛
	軽減	建物の耐震化	ワクチン
	転嫁	地震保険	ワークシフト
	受容 (保有)	応急対策 復旧・復興	タミフル リレンザ



# 地域の防災力（Disaster Resilience）

## どのようなリスクにも立ち向かえる地域の防災力





# 地域の防災力

## = 市民の防災力 + 公的機関の防災力

### ◆ 市民の防災力

- ◆ 自助

- ◆ 共助

- ◆ 自助力の向上のないところに共助は生まれない

### ◆ 公的機関の防災力

- ◆ 公助

- ◆ サーフティネットの提供

- ◆ 自助力を育む環境・システムの提供



# 地域の防災力を 上手に“コンディショニング”する

- ◆ 与えられた時間をどういかすか
- ◆ 2020年から2040年の間に地域の防災力がピークを迎えるようにするにはどうすればいいのか
- ◆ 完全に被害を防ぐことは出来ない
- ◆ 被害を最小限にするための優先付け
  - ◆ 被害を出してはいけないもの、やむをえないもの
  - ◆ 最初の10年やるべきこと、次の10年でやるべきこと
  - ◆ 22世紀に向けてやるべきことは何か

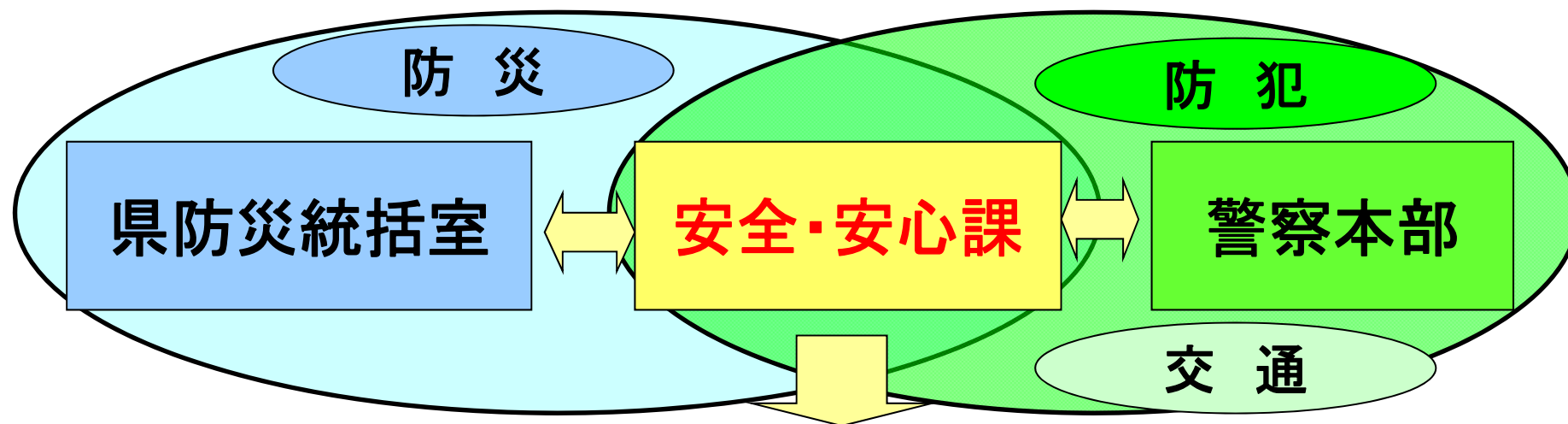


# 対策の優先順位づけ

- ◆ **被害抑止：それなしには社会が機能しないもの**
  - ◆ 人命に関わるもの：病院
  - ◆ 将来に関わるもの：学校
  - ◆ 基本的な社会基盤：電力・道路・上水道
- ◆ **被害軽減：それ以外のもの、被害発生を覚悟**
  - ◆ 被害を極小にとどめる
  - ◆ 迅速に復旧する
  - ◆ どこにどのような被害が発生しているか、
  - ◆ どのように対応がなされているか

# 安全・安心まちづくり推進課

平成19年11月、「安全・安心まちづくり推進課」を設置。  
災害に強いまち、事件や事故のないまちづくりを目指し、  
自主防犯・防災活動の取り組みを一体的に支援。



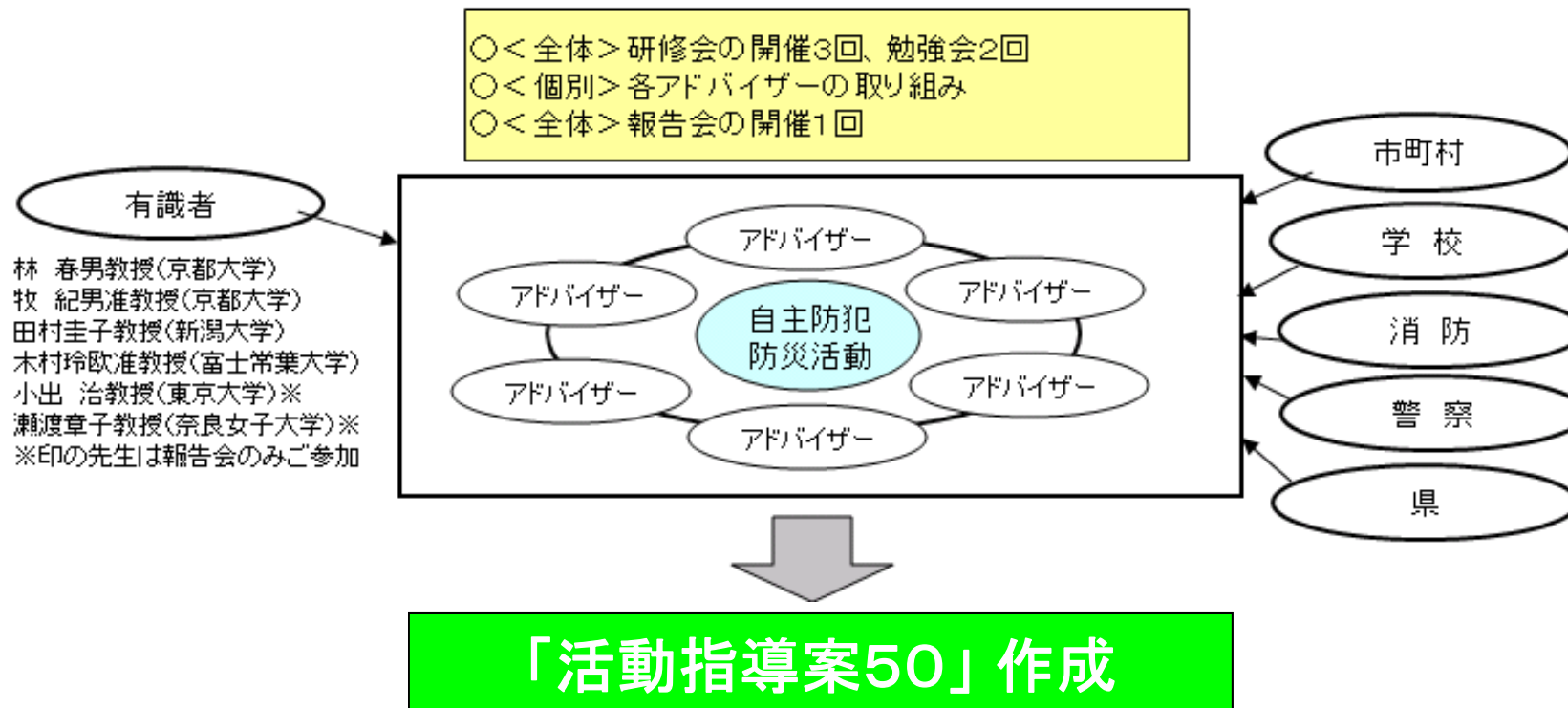
- ① 安全・安心まちづくり普及啓発
- ② 自主防犯・防災に関する講演会
- ③ 自主防犯・防災リーダー研修
- ④ 自主防犯・防災団体に対する支援事業 ほか



# 安全・安心まちづくりチャレンジ事業

県内の自主防犯・防災活動の組織化・活性化を推進するため、安全・安心まちづくりアドバイザーと、有識者・市町村・消防・学校・警察・県職員等の支援者による協働事業を実施(今年度5回)。今年度、50の活動指導案を作成し先進事例集として取りまとめた。

自主防犯・防災活動を一体的に取り扱う先進事例集は、都道府県では全国初のチャレンジで、今後、安全・安心まちづくりアドバイザーが市町村や地域に出向き先進事例集の普及啓発に一役買っていただきます。





# 防災と防犯の一体化

- ◆ **防犯の窓口は警察、防災は県の防災は「役所」の都合**
- ◆ **地域のリーダーはどちらも担う**
- ◆ **リーダー人材は多くない**
- ◆ **貴重なリーダー人材の連携・協力**
  
- ◆ **防災は「毎日の活動」の積み重ね**
- ◆ **防災は「防災イベント」の継続**
- ◆ **互いに補完しあえる活動**



# 奈良県安全安心まちづくりチャレンジ 事業で気づいたこと

- ◆ 奈良県は古い県だとみんなが思うが、多くの方は「自分の代に、今の場所に住んだ」人
- ◆ 最初は地域の「きずな」づくりからスタート
- ◆ さまざまな活動がある
  - ◆ 1度、繰り返し（毎日、毎週、毎月、毎年）
- ◆ それらを組み合わせて年間プログラム
- ◆ 継続は力
- ◆ 他の団体にとってもヒントが多い、でも伝わりにくい



# チャレンジプログラムをつくる

- ◆ **事業を広げていくためには、一部の指導者の個人的技術に頼るだけではなく、学習者を導くためのプログラムが必要である**
- ◆ **プログラムは「年間計画」と「学習指導案」で構成される**
  - ◆ **年間計画：学習すべき単元の構成図**
  - ◆ **学習指導案：1 単位時間の指導の流れ**



# 活動指導案の作成

## ■基礎データ

- ①タイトル
- ②活動の概要
- ③目標・ねらい
- ④活動で上げることができる力・能力
- ⑤対象者
- ⑥活動・作業形態
- ⑦準備するもの（道具、材料等）
- ⑧所要時間
- ⑨必要なマンパワー（役割、人数）
- ⑩必要経費（所要額、財源）

## ■活動の流れ

- ①活動の流れ（1～5程度 時間経過の流れ）
- ②活動の留意点、資料など（3～7程度 細かい手順）